



# 第18回 資源循環型肉牛生産シンポジウム2021

先着80名  
入場無料  
事前予約必須

## 「持続可能な 食料生産システムを考える ～ポストコロナを見据えて～」



日時

2021年10月28日(木)  
13:00▶▶▶17:00

場所

とかちプラザ2階 視聴覚室  
〒080-0014 北海道帯広市西4条南13丁目1

我が国の食料・農林水産業は、大規模自然災害・地球温暖化、生産者の減少等の生産基盤の脆弱化・地域コミュニティの衰退、新型コロナを契機とした生産・消費の変化など多くの課題に直面している。このような中、健康な食生活や持続的な生産・消費の活発化やESG投資市場の拡大に加え、諸外国でも環境や健康に関する戦略を策定するなどの動きが見られることから、持続可能な食料システムを構築することが急務となっている。

これらに対応するため、農林水産省が2021年5月12日に食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現することを目的とした「みどりの食料システム戦略」を策定した。この戦略では、畜産生産における環境負荷低減を進めるため、耕種農家のニーズをふまえた高品質たい肥の生産、ICTや放牧等を通じた省力的かつ効率的な飼養管理技術の普及、子実用トウモロコシ等による国産濃厚飼料生産の拡大や耐湿性の高い飼料作物品種の開発による自給飼料の生産拡大、有機畜産の取り組み、アニマルウェルフェアに配慮した飼養管理の普及等の取り組みが提示されている。これらは当協議会が目標とする資源循環型肉牛生産を実現する上でも重要であると考えられる。

そこで、本シンポジウムでは、「みどりの食料システム戦略」の目標である持続的な食料システムの構築に向けた取り組みについて、行政、生産者、消費者など多角的立場からご講演いただき、資源循環型肉牛生産の意義浸透を図りたい。

### 基調講演

#### 「持続的な畜産物生産を目指して ～みどりの食料システム戦略～」

北海道農政部生産振興局 畜産振興課主幹 叶 拓斗氏

#### 話題提供1 (生産者)

#### 「北大静内研究牧場の持続可能な畜産を目指して」

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 准教授  
耕地圏ステーション 静内研究牧場 牧場長 河合 正人氏

#### 話題提供2 (流通関係)

#### 「消費者目線で持続可能な食料生産システムを考える」

生活協同組合連合会 コープ自然派事業連合  
商品部統括マネージャー 前田 陽一氏

#### 話題提供3

#### 「肉牛専用種枝肉共励会の成績について」

司会：帯広畜産大学 教授 口田 圭吾氏、受賞生産者

### パネルディスカッション

パネラー：講演者、消費者代表

※各講演者の講演内容はタイトルの内容となりますが、講演タイトルは(仮)となります。

例年行っている下記事業は  
中止致します。

- ・意見交換会
- ・eびーふ食味試験
- ・現地検討会



共催：環境リサイクル肉牛協議会、北海道アンガス牛振興協議会、北海道短角牛振興協議会、北海道オーガニックビーフ振興協議会、帯広市

後援：帯広畜産大学、北海道十勝総合振興局、芽室町農業協同組合、十勝農業協同組合連合会、北海道総合研究機構畜産試験場、北海道酪農畜産協会、NHK帯広放送局、北海道新聞帯広支社、日本農業新聞北海道支所、十勝毎日新聞社

#### 新型コロナ対策

- 入場制限/会場収容人数の50%以下先着80名(事前予約)
- 入口での対応/名簿記載確認・消毒・検温ほか

シンポジウム  
申込み・問合せ先

TEL:0156-64-0624 FAX:0156-64-3212

e-mail: kunishige-kyouko@hro.or.jp (地独)道立総研機構 畜産試験場 肉牛グループ 担当：國重 享子

# 環境リサイクル肉牛協議会の活動

環境リサイクル肉牛協議会は、資源循環型牛肉生産の普及・展開を目的として2008年に特定非営利活動法人に認可されました。飼料自給率30%以上(乾物換算)を達成し堆肥を畑地還元する資源循環型生産体制で生産された肉牛を環境にやさしい生産方式による牛肉として認証するeーびーふ認証制度を展開し、副産物飼料に関する情報を提供しています。資源循環型牛肉生産シンポジウムでは未利用飼料資源の活用、地域の副産物利用による牛肉生産について生産者、消費者、流通業界および大学・研究機関など多角的立場からの意見交換を行い、資源循環型牛肉生産の意義浸透を図っています。今年も多くの方々にご参加いただき、副産物や自給飼料の活用による牛肉生産について理解を深める機会となることを期待しております。

## プログラム

13:00～ 開会挨拶

13:10～14:10 基調講演 「持続的な畜産物生産を目指して ～みどりの食料システム戦略～」  
北海道農政部生産振興局畜産振興課主幹 叶 拓斗氏

14:10～14:40 話題提供1(生産者)「北大静内研究牧場の持続可能な畜産を目指して」  
北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 准教授  
耕地圏ステーション 静内研究牧場 牧場長 河合 正人氏

14:40～15:10 話題提供2(流通関係)「消費者目線で持続可能な食料生産システムを考える」  
生活協同組合連合会 コープ自然派事業連合  
商品部統括マネージャー 前田 陽一氏

(休憩)

15:20～15:40 話題提供3「肉牛専用種枝肉共励会の成績について」  
司会：帯広畜産大学 教授 口田 圭吾氏、受賞生産者

15:50～16:50 パネルディスカッション

パネラー：講演者、消費者代表

17:00 閉会挨拶

例年行っている下記事業は、中止致します。

・意見交換会 ・eびーふ食味試験 ・現地検討会



## 参加申込書

締切期限  
**10月19日(火)**

参加される方は、FAXまたはE-mailで必要事項を記入の上お申し込みください。

道立総研機構畜産試験場肉牛グループ 担当：國重 享子

FAX送付先 **0156-64-3212** E-MAIL: [kunishige-kyouko@hro.or.jp](mailto:kunishige-kyouko@hro.or.jp)



氏名	所属(会社名・団体名等)	連絡先(TEL)